

千年の森便り No.264

2026.1.31

ちば千年の森をつくる会

<http://sfuku.cloudfree.jp/>

代表 福島成樹

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

1月18日（日）天候 晴れ

2026年最初の活動日は、参加者全員で祠山にお参りしたあと、県の生物多様性センターが主催するヒメコマツ観察会への対応と、午後は千葉県立中央博物館によるヒメコマツ植栽試験地の測定に協力しました。お天気が良く、日向はぽかぽかする陽気の中、ヒメコマツ観察会に参加されたみなさんには、落葉して明るくなった豊英島の森を楽しんでいたのではないかと思います。

参加者は、ヒメコマツ観察会関係者10名と、伊藤、鶴沢、片野、坂本、福島の会員5名の計15名でした。今回も、坂本さんから里芋の差し入れをいただきました。ごちそうさまでした。（福島）



片野さん、日陰で暗くなっちゃってごめんなさい

○祠山にお参り

年の初めの活動日には、豊英島にある祠に、参加者全員でお参りするのが恒例です。吊り橋を渡り、千年広場に荷物を置いて、みんなで森を観察しながらゆっくりと祠山に向かいました。落葉したコナラに混じりナラ枯れで枯死したコナラが所どころに残っています。また、遊歩道の一部は、シカの食害が少なくなったせいかヤブのようになってきました。改めて森をながめると、森も毎年変化していることを感じます。

祠にお神酒を供え、柏手を打って感謝の気持ちを伝えるとともに、豊英島における活動の安全を祈願しました。（福島）



○ヒメコマツ観察会

千葉県環境生活部自然保護課生物多様性センターが主催するヒメコマツ観察会が、会の活動日に合わせて開催されました。島を訪れたのは、生物多様性センター、中央博物館と、観察会に応募されたヒメコマツサポーターの方々と、合わせて10名でした。観察会の参加者は、初めに島の外にある自生するヒメコマツを観察し、その後に吊り橋を渡って豊英島に到着しました。最初に、ちば千年の森をつくる会の活動や島の概要を説明したあと、中央博の尾崎さんの案内で、千年広場近くと禁断の岬にある2か所のヒメコマツ植栽試験地を見学していただきました。参加されたヒメコマツサポーターのみなさんからは、成長や結実、病気のことなどいろいろな質問が出ていました。（福島）



千年広場で会の活動を紹介

○シンボルツリー

ヒメコマツ観察会のご一行が禁断の岬での観察を終えて広場方面に帰る途中、祠山の下に差し掛かると右側に株立ちのウラジロガシが見えます。私は個人的にこの木が豊英島のシンボルツリーと思っていますので、一行を呼び止めて是非見て行ってくれと話しかけました。

皆さんが改めてその大木を見ると、根元で癒合した太い幹が何本も斜上している特異な姿に驚き、「これは何の木ですか?」「なぜこんな形なのですか?」と声が上がります。ここから中央博の尾崎さんの出番となり、炭焼きのため切られたウラジロガシが萌芽更新した姿で、かつて炭焼きは村の基幹産業だった話、村有の豊かな森林資源に恵まれた村では村民税が無かった事など思わぬ方向に話題が広がりました。

遊び盛りの子どもの頃に、いやいや炭焼きの手伝いをさせられた最後の世代である私も、少しばかりの体験談が披露できました。今となれば、森林資源のお陰で幼少期の命を繋いできた我が身を自覚して、山の木は恩人と感謝し、敬う気持ちが根底にあります。

古い写真を探したら 15 年前のものがありました。近年撮影ものものと比べるとその差があるような、無いような・・・(坂本)



2011年11月



2024年12月

○冬の豊英島



オニシバリ



ナガバノコウヤボウキ



キンクロハジロ



カワラタケ



ヒメコマツ植栽試験地



コショウノキのつぼみ



アセビ



青空にヒメコマツの梢

○大原則彦さんを偲ぶ

活動日の翌日の月曜日、会員の大原則彦さんが亡くなったとの連絡が入りました。前日に、今日は珍しく大原さんお休みなんだねとみんなで話をしていたところでした。聞いたところでは、木を伐採していて事故に遭ったとのこと、亡くなっているのが確認されたのが17日、実際に亡くなったのはもっと前だったのではないかとのことでした。一人で伐採作業をしていたそうで、複数人で作業をしていればもしかしたら…と思うと残念でなりません。



大原さんは、活動日にはほぼ毎回参加されていて、お昼時に怪しげなジビエのコンビーフをご馳走してくれたり、動物の毛皮を見せてくれたり、仕事の話では、ログキャビンナチュレという宿をやっていて、あちこちに貸し山林を持っているとか、被災地の支援に行ったり、時には中国に商談に行ったりなどいろいろなお話を聞かせてくれました。もう会えないと思うと、とても寂しいです。謹んでご冥福をお祈りいたします。

ご連絡をいただき、1月23日に焼骨と骨上げに伺ってきました。ご親族は、愛知県から弟さん夫婦がいらしていましたが、大原さんとはもう何年も会っていなかったそうで、私からは、大原さんの近況として、ちば千年の森をつくる会でどのように活動されていたかというお話をさせていただきました。

弟さんからは、大原さんが持っていた機材を処分する必要がある、軽トラに積んでいたチェーンソー4台を会で役立ててもらえないかとの相談があったので、会で引き取り活動に使わせていただくことにしました。今後、管理や使い方を考えたいと思います。

会員のみなさんから多数のお悔やみのメールが届きました。以下に、一部を紹介させていただきます。(福島)

大原さんは、ペンション経営者、ログビルダー、災害ボランティアと多彩な顔を持ち、国内、国外で幅広い活動をしていた方でした。千年の森では黙々とチェーンソー作業に取り組む一方で、昼休みになどに、森林を使った新たなビジネスのアイデアを熱く語っていた姿を思い出します。突然の事故がそれらの夢をすべて奪ってしまいました。心からご冥福をお祈りいたします。(伊藤)

私の大原さんの印象は、ワイルドの塊といったところです。野生の生物を食用に加工し、会員に振る舞っている姿が思い出されました。人の好さも抜きに出ていたようにも思えます。今回の事故は誠に残念に思います。心より、ご冥福をお祈りいたします。(秋元)

○次回の定例活動は2月15日(日)です。

相対照度調査(要検討)、植生保護柵補修、危険木伐採を予定しています。

ご参加をよろしくお願いします。

参加の際は、ダニ対策とヘルメット着用を忘れずに。

体験参加大歓迎です！

集合場所が、房総クロスヴィレッジに変更になりましたのでご注意ください。

<https://maps.app.goo.gl/hFKVg4mXncQZJuyU6>

(35.218558228172604, 140.02542152712238)

以前の集合場所から豊英島方向に進み国道から左に入ったところです。

集合は9:30です。お間違いのないように！



房総クロスヴィレッジ(旧三島小学校)



この活動は一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けて実施しています